

津波・洪水避難立体駐車場

地域を守る安心のランドマーク



東日本大震災の地震・津波にも耐えた

2011年3月11日の未曾有の東日本大震災では地震、津波による甚大な被害が生じました。この大災害の中、国土交通大臣認定の自走式立体駐車場は倒壊する事無く、地震・津波に耐えることができました。津波被害にあった地域では避難場所として、また支援物資の発着拠点としても機能した例もありました。

自走式立体駐車場も

事実上「津波避難ビル」の指定対象に

2017年7月、内閣府から津波防災対策の一層の推進を図るための技術的助言と事例集が公表されました。事例集には、民間の立体駐車場を活用した津波避難ビルの例として、大臣認定自走式立体駐車場の実例が紹介されています。

内閣府Webページ▶
津波避難ビル等に掛かる事例集

1. 利用・運営編

事例1-5. 民間の立体駐車場を活用した津波避難ビルの例

- 民間の立体駐車場を津波避難ビルに指定し、来場者や近隣住民、従業員等の津波発生時の緊急避難場所を屋上に確保している。(静岡県静岡市)

国土交通省告示に基づく構造計算により、設置済の津波避難ビルとしての構造安全性を確認している

津波ひなんビル
Shizuoka Evacuation Building
避難場所指定、2017年7月
国土交通省告示に基づく構造計算により、設置済の津波避難ビルとしての構造安全性を確認している

SBSマテリアルコンクリート 株式会社 静岡市
〒420-0801 静岡県静岡市清水区大井町1-1-1

何故、津波に強いのか？

01 シンプルかつ頑丈な構造

02 水の力を逃がす開放性

03 大人数を収容可能な広い空間

04 駆け上がりやすいスロープ

05 日常生活での認知度

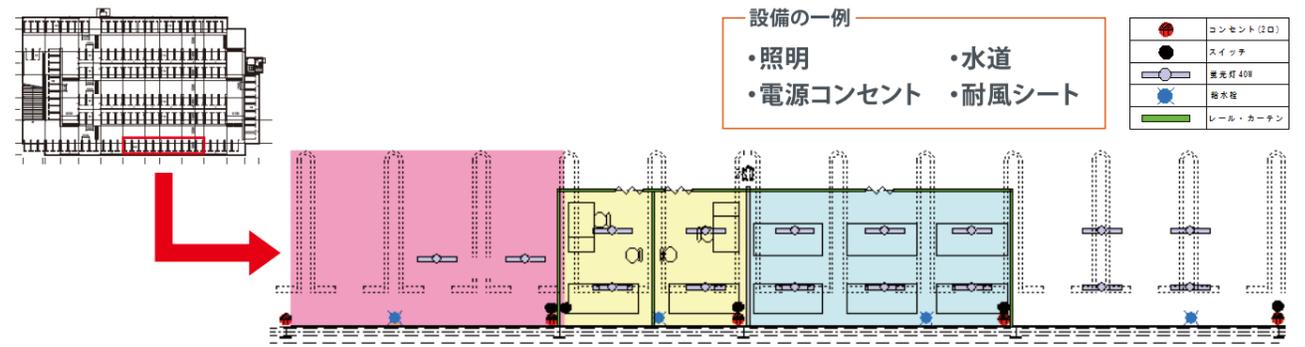
病院向け立体駐車場

緊急時の避難施設・医療施設の役割を担う



災害拠点病院として必要な設備を完備

- 災害時に水道・コンセントなどのライフライン設備を設置し、被災者支援スペースとして活用できる。
- 平常時は駐車スペースとして有効利用
- 緊急時はシートにより区画を可能とした設計



某国立大学病院での設置事例



大規模なパンデミック時には緊急診察スペースとしての活用も可能

- ドライブスルー方式の臨時外来も対応可能
一般患者と接触させず、感染拡大の防止を図る
- 自動車が効果的な待合室及び診察室へ

